

主要なターニケットの比較

項目	重視事項	C-A-T Resources 陸自仕様 C-A-T G6	NAR社OEM CATG6 "Red Tip"	NAR社OEM CATG7 "Red Tip"	SOFTT-W	SAMターニケット	R.A.T.S	
構造		ウインドラス式(巻き上げ棒式)緊縛機構 緊縛止血を行うには青壮年期男性相当の腕力を必要とする					伸縮性ゴム紐による緊縛バックルのみで固定一枚構造の緊縛帯脚や背中筋力を動員して緊縛することが可能	
		面ファスナーとダブルスリットバックル併用による固定、2重構造の緊縛帯	面ファスナーとダブルスリットバックル併用による固定、2重構造の緊縛帯の端に赤色標示	面ファスナーとシングルスリットバックル併用による固定、2重構造の緊縛帯、帯の端に赤色標示	閉鎖式三角環で固定一枚構造の緊縛帯	特殊バックルにより緊縛帯が適正に自動固定される一枚構造の緊縛帯		
固定力		面ファスナーは特許取得のオス・メスの区別のないUNISEX型の同一部品を使用しているため、面ファスナーを貼り付けた緊縛帯の相互接着による固定能力について、差異は無い			特殊構造の金属バックルのみで堅固な固定が可能	特殊構造バックルのみで堅固な固定が可能	金属バックルに2重に巻き付けることで堅固な固定が可能	
緊縛維持能力	●	1回の装着で基部が著しく変形、巻き上げ棒が容易に破損皮膚を巻き込み疼痛大 ×	30回の反復装着後も基部と巻き上げ棒の変形は復元 ○	樹脂製部品の強化が災いし、緊縛が容易に解除される ×	巻き上げ棒が金属製、巻上棒は閉鎖式三角環で固定 ○	巻き上げ棒が金属製、緊縛帯自動固定機構を備える。緊縛帯の面ファスナーが緊縛維持を補完 ○	金属バックルに2回巻き付けることで固定 ○	
調整幅		緊縛帯が2重構造のため約10cm(3フィンガー:3横指分)巻上棒を巻く前に適正緊縛力の確認"3フィンガーチェック"が必須 ×			緊縛帯が一枚構造のため約80cm ○	緊縛帯が一枚構造のため約60cm ○	緊縛帯が一枚構造のため約90cm ○	
身体への負担		3時間の装着まで許容できる2重構造の緊縛帯により緊縛時の皮膚の損傷少 ○			3時間の装着まで許容できる一枚構造の緊縛帯のため緊縛時の摩擦により皮膚に擦り傷などの軽微な損傷を与えることがある △		2時間まで許容細い緊縛帯のため身体への負担大 ×	
教育所要	●	收容法、携行法、緊縛法、バックル使用法(G7は固定力強化法)適正緊縛力"3フィンガーチェック"の5種類の教育が必要 ×			緊縛法、適正緊縛力(3フィンガーチェック)教育が必要 ○	緊縛法の教育のみ ○		
フールプルーフ機能	●	巻上棒を巻く前に適正緊縛力の確認"3フィンガーチェック"を忘れた場合緊縛力不足により出血を助長させ致命的過失を招くおそれがある ×				適正緊縛力で自動的に固定されるため確認不要 ○	使用法に習熟が必要 ×	
低照度環境における止血所要時間	●	36秒 ※晴天時の満月 ×	17秒 ※晴天時の満月 ○	17秒 ※晴天時の満月 ○	17秒 ※晴天時の満月 ○	10秒 ※晴天時の満月 ○	13秒 ※晴天時の満月 ○	
機能補完能力	●	装着に失敗した場合、他の止血帯を装着し直す以外に止血機能を補完する方法が無い ×			装着を継続した状態で補完が可能 ○	緊縛帯に面ファスナーを備え、固定力を補完 ○	装着を継続した状態で補完が可能 ○	
抗堪性		2重構造の緊縛帯、樹脂製部品の使用 ×			一枚構造の緊縛帯、金属製部品の使用 ○			
証拠保持能力	●	なし				あり(特殊バックル)	なし	
結論		失敗が少なく、自動固定バックルが救護者が適正緊縛圧で止血したことを証拠として示すSAMターニケットが最良である。この機能は一般市民への止血帯普及への貢献度が大きくAEDに相当するほどである。身体への負担は、重大な過失を回避できることや救命効果に比べれば僅少である。R.A.T.Sは小学生による成人男性の大腿部からの大出血への緊縛止血を可能にする。十分な教育により老若男女問わない止血帯としてR.A.T.Sも選択候補になり得る						